

首都大学東京・傾斜的研究費「多文化都市と新相互行為圏(NIZ)の形成」

シンポジウム

異文化社会で生きること

—インドネシア人からみた日本社会—

日時:2012年6月27日(水)15:00~18:00

会場:首都大学東京南大沢キャンパス6号館101教室

【プログラム】

- 15:00-15:10 開会の挨拶
- 15:10-15:30 澤井充生(首都大学東京社会人類学分野・助教、「NIZプロジェクト」A班・在日ムスリム調査班代表)
「日本社会におけるムスリム—歴史的背景と現状について」
- 15:40-16:00 荒木 亮(首都大学東京大学院社会人類学分野・博士前期課程)
「日本に住むインドネシア人ムスリムの宗教生活」
- 16:00-16:20 アエブ・サエフルバツフリ(UPI・日本語教育学科准教授)
「日本社会で生きるインドネシア人—EPA制度により来日した看護師・介護福祉士候補者を事例に」
- 16:30-16:50 磯野 英浩・引田 梨菜・豊國 祥子・李 惠(首都大学東京大学院日本語教育学分野)
Andina Permatawaty・Astiya Hadiyani・Wistri Meisa・Sustia Fattiska・Rosi Rosiah (UPI大学院 日本語教育学分野)
「首都東京のインドネシア語の展開—言語景観に注目した事例調査」
- 16:50-17:10 佐々木 未華・丁 美貞(首都大学東京大学院日本語教育学分野)
Eka Mahtra Khoirunnisa、Rekha Della Fitrati、Anisa Arianingsih (UPI大学院 日本語教育学分野)
「異文化社会としての日本」
- 17:20-17:50 総論討論
- 18:00~ 懇親会

主催:首都大学東京社会人類学分野「NIZプロジェクト」(代表:伊藤眞教授)

共催:首都大学東京日本語教育学分野「首都大学東京(TMU)・インドネシア教育大学(UPI)大学院生研究交流プログラム
(日本学生支援機構(JASSO)留学生交流支援制度)」(代表:ダニエル・ロング教授)